

韓国環境部プレスリリース 2020年3月11日付

## 京畿道と江原道の野生いのししから ASF ウイルス検出（野生いのしし 348-349 例目）

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1351075&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は3月9日江原道（カンウォンド）華川郡（ファチョンゲン）華川邑（ファチョンウプ）で発見された野生いのししの死体1個体と3月10日京畿道（キョンギド）漣川郡（ヨンチョンゲン）旺澄面（ワンジンミョン）で発見された野生いのししの死体1個体から ASF ウイルスが検出されたと3月11日明らかにした。

□国立環境科学院は3月11日死体2個体から ASF ウイルスを検出したことを関係機関に通知した。これで華川郡（ファチョンゲン）138件、漣川郡（ヨンチョンゲン）119件、坡州市（パジュシ）70件、鉄原郡（チョルウォンゲン）22件、合計349件の野生いのしし ASF 陽性事例となった。

○野生いのしし ASF 標準行動指針により試料採取後現場消毒と共に死体を処理した。

□国立環境科学院は「今回確認された死体は全て広域フェンスの中で発見され、既存感染個体発見地域と近接していた。この地域では感染死体がさらに出てくる可能性が高く、徹底的に捜索している」と明らかにした。

以上